# 鹿追町:多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、環境価値の向上による地方創生モデル 「MIRAI COUNTRY」の提唱



脱炭素先行地域の対象: 役場周辺エリア、瓜幕エリア、然別湖エリア、エネルギー供給エリア、公共施設群等

主 な エ ネ ル ギ - 需 要 家 : 役場周辺エリア10施設(自営線)、瓜幕エリア6施設(自営線)、然別湖エリア3施設、町内全公共施設323施設

#### 取組の全体像

公共施設を主体に町民サービスによる行動変容を図る役場周辺エリア、脱炭素等による交流拠点となる瓜幕エリア、地域振興の拠点となる然別湖エリア、再生可能エネルギーをつくり町内に届けるエネルギー供給エリアの、4つのエリアで**太陽光やバイオガスプラント**等の設備導入を集中して行うとともに、公共施設群においては、オンサイトに加え、地域新電力を介して町内の再エネ由来電気を供給することで、脱炭素化に取り組む。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ①【役場周辺エリア】主要公共施設を結ぶ自営線ネットワーク(太陽光 440kW)に新たに道の駅と太陽光発電・蓄電池・水素燃料電池・EVス テーション等を導入
- ②【**瓜幕エリア**】山村留学受入拠点等の施設群に、**自営線・**太陽光 30kW・蓄電池・メタンコジェネ10kW、FCEV・V2Hを導入し、集落のレジエンスを強化
- ③ 【然別湖エリア】国立公園内の2つのホテルと観光拠点に太陽光20kW、FCEV・V2Hを導入し、ゼロカーボンパーク化の達成を目指す
- ④ 【エネルギー供給エリア】北鹿追バイオ ガスプラント1,500kWを新たに導入
- ⑤【公共施設群】①②③のエリアに加え、 その他全公共施設323施設に対して も、オンサイトに加え、地域新電力を 介して町内の再エネ由来電気を供給



中鹿追バイオガスプラント

## 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 中鹿追バイオガスプラントで製造した**水素**をカードルに充填・トラックで役場周辺エリアまで運搬・水素燃料電池に供給し、通常時に加え非常時にも電力・熱供給を可能とする
- ② 公用車(20台)やバス(2台)をFCEV、EV化するとともに、V2H(10カ所)を公民館や公的施設等に設置して災害時の電力供給を可能にする

## 3. 取組により期待される主な効果

- ① 畜産ふん尿の処理過程で得られるバイオガスを利用して町の脱炭素化を 図ることにより、農業の持続的な成長・臭気や水質等の良好な生活環境 確保・エネルギー自給率向上と防災対策を推進
- ② 地域新電力を介した再工ネ電力の供給により、電力の地産地消・域外へのエネルギー資金の流出抑制・新規雇用の創出を推進
- ③ 公共施設に再生可能エネルギーを導入・一定エリアに自営線ネットワークを構築等することにより、非常時のエネルギーを確保し、レジリエンスを強化

## 4. 主な取組のスケジュール

